

可決
すべき

予算
常任委員会

委員長 澤本長俊

一般会計補正予算 主な事業

●経営体育成支援事業

30,889千円

認定農業者が農業経営の発展・改善を目的として、金融機関の融資を活用し農業用機械等を購入する場合、その費用の一部を助成する。 ※補助率…購入額の30%

●橋梁長寿命化事業

66,810千円

橋梁点検の結果、早期に修繕等の措置が必要と判定された橋梁17橋の補修設計を行う。

●社会体育施設天井等落下防止対策事業 103,801千円

安曇川総合体育館を広域避難所として機能維持するため、天井・照明・床張替え等の改修工事を行う。

国民健康保険特別会計補正予算
主な事業

●国民健康保険の都道府県一元化へ向けて、納付金や標準保険料率の算定に必要なデータを提供するため、システムを改修する
経費 2,916千円

審査の結果、いずれも「可決すべきもの」と決定しました。

本会議での討論

平成28年度高島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案

反対

日本共産党高島市議団
粟津泰藏

「国保の県一本化」に向けたシステム改修の補正予算であり、反対する。

一本化になれば、住民の耐え難い保険税負担、過酷な徴収強化、資格証発行など、医療保険からの排除につながることは必至である。

賛成

ふるさと絆会
梅村勝久

今回の補正予算は、国保の都道府県一元化へ向けたシステム改修経費等である。国保は市民の命を預かる重要な制度であり財政の安定化は重要。高島市国保の健全な運営に資するものと判断し賛成する。

産業建設
常任委員会

委員長 森脇 徹

行政視察報告

産業建設常任委員会では、6月定例会会期中の13日に「高島の産業遺産」ともいえる朽木の明護隧道(トンネル)と今津のヴォーリス建築物を軸としたまちづくりについて管内視察調査を実施しました。

今津地域には「伝道師ヴォーリスの建築物が4棟(辻川通りの旧銀行建物・ヴォーリス資料館、今津教会、旧今津郵便局と弘川の前川邸)保存されています。その中の旧今津郵便局では、平成25年12月に「ヴォーリス今津郵便局の会」が発足し、現在140人の会員と役員が中心となつて、昭和11年建築のヴォーリス木造建築物をボランティアにより見事に再生しつつある活動について、同会の大石会長から説明を受けました。市においても、まちづくりに活かす提案として評価し、協働提案事業として支援していますが、外壁や屋根

の維持改修など課題が残っています。また、委員からの「耐震補強はどつするのかわ」の質問に対し、行政には、登録文化施設であっても耐震補助制度がないことが明らかとなり、今後の大きな課題となっています。

次に朽木地域の農業施設「明護隧道」の視察調査を行いました。明護隧道は、市場地域の水田用水確保のために、明治末期から、安曇川支流北川の地子原地先から市場の裏山までの約775mを約8年間にかけ隧道トンネルを掘り、現在も10センチ以上の水田に導水している隧道です。この明護隧道が工事完成後約百年を経過することから、隧道内の劣化に対する補強のため、今年度、調査費を計上し、29年度から3年間で補強工事を行うことになっています。委員のほとんどが、取水口や隧道出口を初めて現場確認し、「百年前に、手彫りでこれだけの隧道が」と驚きの声があがりました。今津地域でも、淡海湖の落とし水を隧道により日置前の田畑を潤しており、これと併せて高島二大隧道だといえます。



旧今津郵便局



明護隧道